



「やまつりこ矢祭ししよこうざ子ども司書講座」うを受けるきみ君たちへ

ノンフィクション作家 さっか柳田 やなぎだ邦男 くにお

しんにゆうせい 新入生のみなさん、こ子ども司書ししよって、うなんだろう、まなどんなことを学まなぶんだらうと、こころ心のなかでまよ迷いを感じかんじていませんか？

そうですね、「こ子ども司書ししよ」の講座こうざというのは、まいにちきょうしつ毎日教室で学まなぶ国語や算数などの授業じゅぎょうとは、かなりちが違っています。

みなさんは、がっこう学校や家いえで、えほん絵本やどうわ童話やず図かんなどをよ読みますね。では、ほんそういう本たちはどこにあるのでしょうか。きょうしつ教室の本棚ほんだなやとしよかん図書館などになら並べられていますね。では、なら並べられている本は、ほんだれがえら選び、ほんだれがえらそろえてくれるのでしょうか。きょうしつ教室やとしよかん図書館で本ほんを読よんでくれる人ひとって、ひとどういう人なのでしょうか。

そんなことをかんが考えると、ほんみなさんが本を選えらんだり、か借りたりするときには、せんせいクラスの先生だけでなく、としよかん図書館に本ほんにくわしいせんもん専門の先生せんせいがいることがわかります。そういう先生せんせいをとしよかんししよ図書館司書いと言いいます。

こ子ども司書ししよというのは、せんもん専門のとしよかんししよ図書館司書せんもんかほどの専門家としよかんししよでなくても、しごと図書館司書の仕事しごとのお手てつだ伝でんいいをしたり、とく特になかま仲間のともだち友達ほんに本をすすすすめたりすることがやくわりできる役割はを果たせるのうりよく能力みを身みにつけさせようというはじねらいではじめられたものです。

なぜそんなしかく資格こを子どももに持もたせるかという、こ子ども司書ししよになるためのまな学びまなをすると、じぶんじしん自分自身ほんがいろいろな本ほんにくわしくなり、ほん本を選えらぶ力ちからがつくただけでなく、ともまわりの友ともだちが本ほんをよんどんよんどん読よむようになるのをたす助ける役割やくわりを果たせるようになるからです。

やまつりまち 矢祭町では、ぜんこく全国のしょうがっこう小学校のせんとう先頭たに立たって、いちねんせい一年生からろくねんせい六年生までぜんいん全員が、ろくねんかん六年間とおを通して、こ子ども司書ししよのまな学びまなをするというとく取り組みはじを始めました。すばらしいことです。

やまつりしょうがっこう 矢祭小学校のことし今年のじどうすう児童数は、ぜんがくねん全学年あ合わせてにひやくよんじゅうきゅうめい二百四十九名おおです！多いですね。

さあ、みなさん、きょう今日から「こ子ども司書ししよ」の講座こうざがはじ始はじまります。どんな講座こうざが待まっているか、たの楽しんでたのチャレンジしてください。

れいわりくねんろくがつじゅうにち
令和六年六月十二日